WAKU WAKU

研究だより

府中町立府中南小学校

No.7　令和7年6月20日

大屋先生の授業からの学び～あえて「ムズイ」道に～

総合的な学習の時間は、教科書もなければ、学習内容も決まっていない。それだけに、「どう授業したらいい？」「どう単元デザインをしたらいい？」と難しさを感じ、悩みます。しかも、「教師」が引っ張るのではなく、「子どもたち」が学ぶ道筋をコントロールしていくことを考えると、さらに「どうしたら…」と悩むのは私だけではないと思います。

そんな「ムズイ」（大屋先生の口癖「難しさ」→「ムズイ」）を感じるから、「授業する!!」と決められた大屋先生。さらには、「『まとめ・表現』などの授業公開はよくあるけど、『課題設定』の授業は見たことがない」とあえて誰もやったことない「ムズイ」内容を選択されました。「子どもたちに主体的に学ぼう!」と言うだけではなく、大屋先生自身が「どうやって学習材と子どもたちが出会えば、やる気になるか」「どう単元デザインをしたら、自分の生き方につながるか」と主体的に考え、「ムズイ」ともがき、その中で「この授業!!」と整理して授業して下さったからこそ、あれだけ子どもたちは自分事として学んでいたのだと思います。あえて「ムズイ」を選ばれ、チャレンジされる大屋先生の背中を子どもたちは見ているから、「ムズイ」課題も粘り強く考え続け、結果として「大きな成長」という「事実」を見せてくれるのでしょうね。

「チーム南小」に感謝!!　～暑さをさらに熱く・あつく～

本当に体育館暑かったですね。そんな中、会場の準備や片付け、さらには受付や協議会のファシリテートなど、「チーム南小」で助け、支えていただいたおかげで、充実した研修会になりました。協議会でも、熱い協議をして下さったこと、感謝しております。今回の学びは、総合的な学習の時間だけではなく、国語や社会などの各教科においても「問い」の設定などの場面でつなげていくことができる内容でした。各学年・学級今回の学びの熱をさらに「あつく」していきましょう。充実の時間、ありがとうございました。

「校内散歩」より

2年4組に行くと、教室中を立ち歩いている子どもたち。もちろん、悪い意味ではなく。算数の問題を解き終えると、自分の考えを交流したり、悩んでいる子に教えていたり。教室の前方では、先生の周りに子どもたちが集まり、先生の説明を聞きたい子は聞いていました。自分に合った学び方や学びたい方法を選択している2年生の姿に、驚きました。自由な中にも、全員が「学びのゴール」に向かう姿がありました。

4月・5月に子どもたち同士を意図的につなげたり、学級のルールを築いたりしているから、「学びが深まる6月」になっているのでしょうね。